

別記様式第2号

## 持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業(令和元年度)に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容	成 果 目 標 の 達 成 状 況					評価機関名	東北農政局	
						目標値	基準年	目標年 令和4年度	達成率	目標年 令和6年度	達成率		
青森県	—	青森県花のくにづくり推進協議会	花き	令和元年度	青森市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	10,686円	10,177円	8,500円	-329%	7,741円	-479%	・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育・園芸体験実施	フラワーフェスティバルでの大型アレンジメント展示や幼稚園等での花壇植付け体験などを通して、花に触れあう機会を増加させることで、花きの効用が理解され、花きの消費拡大につながる意識の変化がみられたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
宮城県	—	宮城県花と緑普及促進協議会	花き	令和元年度	宮城県における花きの生産金額の10%増加	3,330,300千円	3,027,546千円	2,581,585千円	-147%	2,495,165千円	-176%	・県産花きの課題解決のための検討会議の開催 ・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・県産花き需要拡大のための産地交流会の開催	県産花き各品目において生産・流通・消費の現状及び課題について検討・実証を行い、また、産地交流会を実施し県産花きの生産・販売の契機とするなど、生産額向上に向けた取組を行ったものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	仙台市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	14,669円	13,970円	10,476円	-500%	8,768円	-744%	・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育移動教室の開催	取組によって、消費者に対して県産花きの魅力発信及び需要喚起が図られ、県産花きの消費拡大が図られたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成 果 目 標 の 達 成 状 況		具体的な 取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見					
					成果目標の具体的な内容	目標値	基準年	目標年 令和4年度	達成率	目標年 令和6年度	達成率		
秋田県	—	秋田県花きイノベーション 推進協議会	花き	令和元年度	活動区域における「ディスパッドマム」販売業者の取扱数量の5%増加	213千本	203千本	155千本	-480%	156千本	-470%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・現地研修会、先進地調査の実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	技術研修や実証ほの設置、イベント会場での展示などにより、生産現場、消費者双方で認知度が高まり、販売数量の成果目標を達成したものの、販売業者の取扱数量の成果目標については達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	活動区域における「ダリア」の販売数量の10%増加	769千本	699千本	631千本	-97%	564千本	-193%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	令和6年は7月の豪雨と、その後の高温・少雨の影響により品質低下や枯死した株が多くなり、生産量が減少した。また、イベント等との連携や小学校での花育体験により、NAMAHAGEダリアを含め認知度が高まり、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標には到達しなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	活動区域における「ダリア」販売業者の取扱数量の6%増加	54千本	51千本	47千本	-133%	46千本	-167%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	令和6年は7月の豪雨と、その後の高温・少雨の影響により品質低下や枯死した株が多くなり、生産量が減少した。また、イベント等との連携や小学校での花育体験により、NAMAHAGEダリアを含め認知度が高まり、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標には到達しなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	活動区域における「リンドウ」の販売数量の10%増加	10,465千本	9,513千本	9,630千本	12%	7,800千本	-180%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	令和6年は高温・少雨の影響による日焼け花の発生や収穫時期の降雨により、生産量が減少した。花育やフラワーアレンジメント講座により、消費者が花きに触れる機会は増えているが、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標に到達しなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	活動区域における「リンドウ」販売業者の取扱数量の5%増加	1,776千本	1,691千本	1,741千本	59%	1,631千本	-71%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	令和6年は高温・少雨の影響による日焼け花の発生や収穫時期の降雨により、生産量が減少した。花育やフラワーアレンジメント講座により、消費者が花きに触れる機会は増えているが、秋田県産品が品薄となった影響が大きく、成果目標に到達しなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物 ・畜種名	事業実施 初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況					具体的な 取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
						目標値	基準年	目標年 令和4年度	達成率	目標年 令和6年度	達成率		
山形県	—	山形県花き生産連絡協議会	花き	令和元年度	山形県における花きの生産金額の11%増加	8,000,000千円	7,200,000千円	6,000,000千円	-150%	7,000,000千円	-25%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	技術向上による県産花きの安定供給及び品質向上、展示会や花育により興味関心が高まり、家庭での購入機会の増加等に結びついたものの、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	山形市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	12,100円	11,500円	8,141円	-560%	10,870円	-105%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	県産花きの展示会や品評会を開催する等、消費者が花に触れる機会が増え、県産花きの活用の促進、普及につながったものの、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
福島県	—	福島県花き振興協議会	花き	令和元年度	福島県における花き(きく)の10a当たり収量の5%増加	24.3千本	23.1千本	21.1千本	-167%	21.4千本	-142%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	取組によりきくの電照栽培導入を推進した結果、H31におけるきくの電照栽培の導入面積806aが令和5年は883aに増加しており需要期への安定出荷体制が進んだものの、単収増加の結果は得られず成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	福島県における花き(トルコギキョウ)の作付面積の10%増加	23.1ha	21.0ha	16.4ha	-219%	16.1ha	-233%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	実証ほを設置したいわき地方ではトルコギキョウの生産部会が設立されるなど新たな産地育成に向けて支援しているが、トルコギキョウの主産地である会津地方では高齢化等により作付面積が減少したため成果目標は達成できなかった。このため、改善計画書の提出を求める、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和元年度	福島市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の5%増加	14,800円	14,075円	11,730円	-323%	15,786円	236%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。

(注)成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。